

商業科「ビジネス・コミュニケーション」学習指導案

日 時 令和4年9月6日(火) 4限目

場 所 1年3組教室

指導学級 総合ビジネス科 1年3組

(男子6名 女子9名 計15名)

指 導 者 教諭 家吉 新吾

教 科 書 東京法令出版 ビジネス・コミュニ
ケーション (商業705)

1 単元名

第3章 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション
第1節「ビジネスにおける思考の方法」

2 単元目標

- (1) ビジネスにおいて、物事に対し筋道を立てて論理的に捉えることで、効率よくコミュニケーションをとることができる。
- (2) ロジカルシンキング（論理的思考）のフレームワークであるMECE（Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive）とロジックツリーについてその概要を理解する。
意識決定の際に用いられるSWOT分析の4つの要素とその組み合わせについて理解する。
- (3) ポジショニングマップやPPM分析を用いて自社の立ち位置や事業の見直しを図ることができる。
- (4) 情報の信頼性と妥当性を検討し、有用な情報を見極める重要性を理解する。自覚しないと非合理的な思考に陥る可能性があることを理解する。

3 生徒の生徒観

基本的な生活習慣が確立していない生徒、読み・書き・計算等の基礎学力の定着が不十分である生徒が多いクラスである。しかしながら学校生活において、積極的に学校行事等に参加している。学習面においても授業中の問いかけに積極的に発言、質問する生徒が4月より増えているように見受けられる。担任の先生の指導のもと生活面のみならず、学習面においても向上心が感じられる。

4 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
論理的思考の基礎である、演繹法と帰納法を理解し、SWOT分析・ポジショニングマップ・PPM分析等の概要及び分析を行うための技術を習得するとともに、情報の信頼性・情報の妥当性・認知バイアスについて理解している。	論理的な思考がなぜ必要かを考えることができ、SWOT分析・ポジショニングマップ・PPM分析等の概要について説明することができる。また、問題解決の前提条件を判断し、問題解決の提案することができる。	論理的思考に必要な知識・技術の重要性を理解し、主体的に身につけようと取り組んでいる。各フレームワークを活用し問題解決の考案をグループ活動において、積極的にコミュニケーションをとり、主体的・協働的に取り組んでいる。

5 単元の指導計画(6時間)

時	ねらい・学習活動	重点	記録	備考(評価規準・評価方法)
第一次 (2時間)	<p>1. 論理的な思考の方法①</p> <p>・論理的思考の基礎なる演繹法と帰納法に関する知識を理解する。</p> <p>・ビジネスにおいては、演繹法と帰納法を組み合わせ意思決定をおこなう。</p> <p>2. 論理的な思考の方法②</p> <p>・複雑な問題に対する意思決定をおこなうフレームワークである。MECE・ロジックツリー・SWOT分析に関する概要を理解する。</p> <p>・コンビニエンスストアの分析を例にSWOT分析の概要を理解する。</p>	知 主	○ ○	<p>・具体的な事例をもとに、演繹法と帰納法を理解している。 定期考査</p> <p>・論理的思考による意思決定を行う際の様々なフレームワークを理解できるように主体的に取り組んでいる。</p>
第二次 (2時間 本時2/2)	<p>2. 論理的な思考の方法②</p> <p>・コンビニエンスストアのSWOT分析をもとにクロスSWOT分析により経営の見直しをする。</p> <p>・クロスSWOT分析の積極的な意思決定、差別化戦略的な意思決定、弱点補強戦略的な意思決定、防衛または撤退戦略的な意思決定をとることができることを理解する。</p> <p>【本時】</p> <p>・串良商業高等学校を元気にするためには(学校の活性化)をテーマに、SWOT分析によって内部環境と外部環境をモレなくダブリなく整理して把握する。</p> <p>・グループごとに、クロスSWOT分析を行い、積極的な意思決定、差別化戦略的な意思決定、弱点補強戦略的な意思決定、防衛または撤退戦略をとる意思決定をすることができる。</p>	知 思 思 主	○ ○ ○ ○	<p>・SWOT分析の外部環境である「機会」「脅威」、内部環境である「強み」「弱み」をモレなくダブリなく整理し把握している。 ワークシート</p> <p>・クロスSWOT分析で「強み」と「機会」を組み合わせ積極的な意思決定を判断している。 ワークシート</p> <p>・SWOT分析の外部環境である「機会」「脅威」、内部環境である「強み」と「弱み」をモレなくダブリなく整理し把握している。 観察シート</p> <p>・グループごとに、主体的・協働的にクロスSWOT分析による意思決定を判断している。 観察シート</p>

第 三 次 （ 2 時 間）	<p>3. 論路的な思考の方法③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社の商品・サービス、市場における立ち位置を客観的に判断するフレームワークであるポジショニングマップを活用し、自社の商品・サービス、自社の市場における立ち位置を判断する。 ・企業の経営資源（人・モノ・金・情報）の配分バランスを分析フレームワークであるPPM分析及び各項目を理解することができる。 ・事例から販売決定要因を考え新商品をアイデアを考える。 ・企業の外部環境を市場成長率と市場占有率から考え、4つの象限に区分して経営資源の配分を考察する。 <p>4. 論路的な思考の方法④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性と妥当性を検討に有用な情報を重要性を理解する。 ・自覚しないと非合理的な思考に陥る可能性があることを理解させる。 ・インターネットや商品開発等の例を考えて有用な情報の重要性を理解する。 ・認知バイアスの定義を具体例から理解し、クリティカル・シンキングを理解する。 	知 思 知	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・ポジショニングマップを作成し、空白の領域が「差別化」にもっとも適した領域であることを理解している。 定期考査 ○ ・PPM分析は、縦軸を市場成長率、横軸に市場占有率をとって「花形」「金のなる木」「問題児」「負け犬」の4つの象限に区分して経営資源の配分を分析する事を理解している。 小テスト ○ ・情報とは信頼性、妥当性が確保されて有用な情報となることを理解している。 定期考査 ○ ・クリティカル・シンキングのためには、認知バイアス（正常性バイアス・後知恵バイアス・確証バイアス）を排除する必要があることを理解している。 定期考査
----------------------------------	--	---------------------	---

6 本時の目標

- (1) SWOT分析の外部環境, 内部環境に関連する知識・技術を理解する。【知識・技術】
- (2) SWOT分析の問題点の整理や状況分析について, モレなくダブリなく整理し把握することができる。
【思考・判断・表現】
- (3) クロスSWOT分析にてグループごとの意思決定を主体的かつ協働的に取り組む。
【主体的に学習に取り組む態度】

7 本時における観点別学習状況の評価 (太枠は, 記録に残す評価の評価規準)

評価	B	A	C
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
知識・技術	SWOT分析を用いて問題点の整理や状況分析を行うための技術を理解している。	SWOT分析の外部環境「機会」「脅威」、内部環境「強み」「弱み」を理解し, 意思決定を行う技術を理解している。	SWOT分析についての理解が不十分である。 【手立て】外部環境「機会」「脅威」に着目させ意識させる。
思考・判断・表現	SWOT分析の外部環境と内部環境を理解し, クロスSWOT分析による意思決定ができる。	SWOT分析の外部環境の「機会」と「脅威」、内部環境の「強み」と「弱み」を理解し, クロスSWOT分析により意思決定ができる。	SWOT分析の概要の理解が不十分であり, クロスSWOT分析による意思決定ができていない。 【手立て】外部環境「機会」内部環境「強み」に着目させたうえで, 意思決定を意識させる。
主体的に取り組む態度	グループの一員として, SWOT分析を用いて, 主体的に問題解決しようと取り組んでいる。	周囲に積極的に働きかけを行い, 周囲をサポートしながら, 主体的かつ協働的に問題解決に取り組んでいる。	取り組み内容に対する理解が不十分で, 粘り強く取り組む態度が不十分である。 【手立て】改善に向けた声かけや助言を適宜行う。

8 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点等	評価の観点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習をする。 ・本時の学習内容の説明を聞き、本時の学習内容への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に臨む態度ができてい るか確認する。 ・前時までに学習した、SW OT分析の外部環境・内部環 境及びクロスSWOT分析を 振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容の理解が できているか。【知】 ・学習内容に関心を持ち、 主体的、意欲的に取り組も うとしているか。【主】
展開 ① 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・SWOT分析（協働学習） グループごとに（学校の活性化） についての意見を内部環境と外部環 境に分類する。 ・SWOT分析にてモレなくダブ りなく整理し提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部環境と外部環境につい て説明する。 ・グループごとにワークシー トを提出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部環境と外部環境を理 解しているか。【知】 ・主体的、協働的にコミュ ニケーションがとれている か【主】
展開 ② 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスSWOT分析（協働学習） 展開①を踏まえて活性化について 提案をまとめる。 ・クロスSWOT分析表に問題解決 の提案を入力し提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展開①を踏まえて、積極的 な意思決定、差別化戦略的な 意思決定、弱点補強戦略的な 意思決定、防衛、または撤退 戦略的な意思決定を考えるこ とができることを説明する。 ・グループごとにワークシー トを提出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 内部環境と外部環境を理 解した上で分析し、意思決 定を行っているか。【思】 ◎グループの一員として、 積極的に働きかけ、周囲を サポートしながら主体的、 協働的に意思決定を行って いるか。【主】
展開 ③ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスSWOT分析による提案 の振り返り ・グループごとに提案の発表をす る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SWOT分析を踏まえてい るか確認させる。 ・内部環境と外部環境を踏ま えた上での提案か確認させ る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習内容に関心を持ち、 主体的、意欲的に取り組も うとしているか。【主】
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容の振り返りシート に入力・提出する。 ・次時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で学習した内容につい て説明し、確認させる。 ・ポジショニングマップ及び PPM分析について学習する ことを確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容を理解できた か。【知】

観察シート

※ 評価の観点欄の【知】…知識・技術、【思】…思考・判断・表現、【主】…主体的に学習に取り組む態度、それぞれの観点を示す。

※ 評価の観点欄の◎印は、記録に残す評価を示す。

9 展開②のグループ活動におけるルーブリック表

項目	A	B	C
参加 (a)	積極的かつ主体的にグループ活動に取り組んでいる。	グループ活動に取り組んでいる。	グループ活動に取り組んでいない。
傾聴 (b)	視線を合わせながら、リアクションをするなど、他者の意見を受容する姿が見られる。	視線を合わせたり、リアクションを取るなど、意見を聞いている。	他者の意見を聞いていない。
取組 (c)	グループに積極的に働きかけ、他者のサポートもするなど、円滑な話し合い活動に貢献している。	グループに働きかけたり、他者のサポートをしている。	グループに働きかけもせず、他者のサポートもしないなど、話し合い活動に取り組んでいない。

10 ルーブリック評価表 (評価基準)

- 参加(a), 傾聴(b), 取組(c)の3つの項目において、項目ごとにA・B・Cの3段階で評価する。
- 総合評価は、項目ごとの3つの評価の組み合わせにより、下記のとおりとする。
 - ・ A評価 … AAA, AAB, ABA, BAA
 - ・ B評価 … 総合評価がAまたはC以外
 - ・ C評価 … CCC, BCC, CBC, CCB, ACC, CAC, CCA

11 観察シート

9月6日 (火)																																											
観察シート																																											
電子黒板	黒板		【記入例】																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	4	3							8	7							<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">5</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	2	1							6	5							<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th style="text-align: center;">出席番号</th><th style="text-align: center;">評価</th></tr> <tr><td style="text-align: center;">(a)</td><td style="text-align: center;">A</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(b)</td><td style="text-align: center;">B</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">(c)</td><td style="text-align: center;">B</td></tr> </table>		出席番号	評価	(a)	A	(b)	B	(c)	B
4	3																																										
8	7																																										
2	1																																										
6	5																																										
出席番号	評価																																										
(a)	A																																										
(b)	B																																										
(c)	B																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">12</td><td style="text-align: center;">11</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td style="text-align: center;">15</td><td style="text-align: center;">14</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	12	11							15	14							<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">9</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td style="text-align: center;">13</td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	10	9							13								<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th style="text-align: center;">特記事項</th></tr> <tr><td style="height: 100px;"> </td></tr> </table>		特記事項							
12	11																																										
15	14																																										
10	9																																										
13																																											
特記事項																																											